学校だより　　学校スローガン「殻を破れ！一歩前へ」

西有家中Ｎｏ２

令和４年　５月６日
南島原市立西有家中学校
校　長　本　多　洋　二

生徒の皆さんへ

令和４年度がスタートし、１ヵ月が経とうとしています。４月６日の始業式で話をした内容を再度、確認してほしい。少しずつでも成長しているでしょうか。意識できているかあらためて考えてほしい。始業式に話した内容は次の通りです。

令和４年度のスタートにあたり、３つのことを話します。

１つめは、「目標を決めてほしい」ということです。

皆さんにとって、充実した１年にするためには、この１年間をどう過ごすかが大切になってきます。そのためには、目標を具体的に決めることが必要です。「どんな自分」になりたいのか、「なりたい自分」を明確に決めてください。例えば、「部活と勉強を両立している自分」、「家で自主学習を毎日する自分」「誰にでも優しく接している自分」「積極的に行動する自分」というように「なりたい自分」を具体的に決めてください。

「なりたい自分」が明確になれば、自然と何をすればいいのか決まってきます。
目標のない生活は、行き先が決まらない船と同じです。風任せ、波任せでは、行きたい場所には絶対に行けません。
１年間の目標を具体的に決めて、昨日までの自分から、今日からは、気持ちを新たに頑張ってほしいと思います。

２つめは、「どんな生徒になってほしいか」ということです。

「昨日より今日、今日より明日輝く生徒」であってほしいと思います。「あの人より勉強できない」、「あの人よりも運動ができる」というように、人と比べるのではなく**「昨日の自分より今日の自分、今日の自分よりも明日の自分」**というように自分自身と比べてほしい。「昨日より大きな声で挨拶ができるようになった。明日は立ち止まって、もう少し大きな声で挨拶をしよう。」というように、「昨日より今日、輝く生徒」であってほしいということです。

３つめは、「学校スローガン」です。

西有家中学校の今年度の学校スローガンを**「殻を破れ！一歩前へ」**に決めました。
「殻を破れ！」とは、今までの自分から新しい自分に変わると言うことです。似た言葉に「一皮むける」があります。色々なことにチャレンジして、これまでの習慣や自分が思っている限界を破り、新たな自分に変わってほしい。少しでも前に進んでほしいということです。

生徒会スローガン

「覇気～Ｎｏ　Ｌｉｍｉｔ～」

「覇気」には、「物事に積極的に取り組もうとする意気込み」という意味があり、「Ｎｏ　Ｌｉｍｉｔ」には、「限界はない」という意味があります。このスローガンには、生徒一人一人が限界を作らず、自分の殻を破り覇気のある生徒会を築いていきたいという意味が込められています。

（生徒総会資料から抜粋）

本校
美術科
柴田教諭
作成

＜春季大会で優勝したバレー部女子＞

おめでとう！

女子バレー部：優勝
（市春季大会）

軟式野球部：準優勝
（連盟会長杯）

女子バスケット部：第３位
（島原半島春季大会）

女子バレー部：第３位
（ひまわりテレビ杯）

５月の主な行事

８日（日）	ＰＴＡ除草作業
１１日（水）	体育大会予行練習
１３日（金）	会場設営
１５日（日）	体育大会
１６日（月）	振替休日
１８日（水）	教育相談（２・３年）～２５日
１９日（木）	避難訓練・尿検査（２次）
３１日（火）	生徒総会・尿検査（２次）

生徒会が前に出て校歌を歌う生徒集会

ブレークコーナー

自分の考えや人の受け売りです。気軽にお読みください。

生徒会のスローガンを見て、以前読んだ本の中の話を思い出しました。紹介します。

限界をつくるな！

驚異的なジャンプ力で知られるノミ。成虫は体長1mmから4mmほどの小さな昆虫で羽はないものの、後ろ足は飛び跳ねるためによく適応している。ノミは最大で垂直方向に20cm（体長4mmとすると体長の５０倍）水平方向に41cm（体長の100倍）跳ぶことができる。もし、身長１６０ｃｍの人間が跳ぶことができるとすると高飛びは８０ｍ、幅跳びだと１６０ｍ跳ぶことになる。

この 20cm も跳ぶことができるノミを高さ 10cm の箱の中に入れてふたをする。ノミは箱の中で跳び続ける。しばらく放置して、そのノミを再び箱から出してみると、10cm しか跳べなくなっている。20cm 跳べたノミが 10cm しか跳べなくなった理由は、「箱の中」という環境で「10cm」という壁をつくられたために、「10cm」が自分に跳べる高さの限界だと思ってしまったからである。自分で勝手に限界をつくってしまったために本来持っている能力を発揮できなかったのである。これは、人間にも同じ事が起きうるのではないでしょうか。

「俺（私）には、無理だ。こんなことできるわけがない。」というように、今までの経験や今置かれている環境で自分自身に限界をつくっていませんか。

皆さんには、無限の可能性があります。自分を信じること、このことが自信です。この１年間、自分の可能性を拡げてください。